



志成学園
だより

高志

学校教育目標「夢・志の実現 一歩前へ」
地域を愛し志をもち
グローバル社会を生き抜く児童生徒の育成

No.10
志成学園
校長 丹田康彦
(文責)
12/9(月)

年の瀬を迎え

早いもので今年も残すところわずかとなりました。保護者の皆様をはじめ、地域の皆様には、この一年も志成学園の教育活動にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

この一年を振り返ると、真つ先に思い起こされるのが、猛暑が続いたことです。「沸騰列島」という言葉でも表されましたが、猛暑が学校行事にも大きな影響をもたらしました。

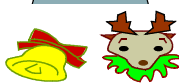
体育大会を十一月開催にして、代わりに文化祭を九月に実施するという変更を余儀なくされました。また、日常では、WBGJ(熱さ指数)が三十一を超える日が続き、運動を原則中止しなればならず、休み時間外で遊べないという状況が続きました。

このように、日々の生活も含めて学校生活に大きく影響した暑さでしたが、子どもたちは、冷静かつ素直に与えられた環境を受け入れ、我慢の日々を耐え抜いてくれました。

保護者の皆様のご理解もあり、文化祭や体育大会はもちろん、大きな事故等もなく二学期、そしてこの一年を終えることができました。本当にありがとうございます。

本校の今年度の重点的な取り組みについては、仕上げの三学期にも引き続き取り組んで参ります。今年度を締めくくる上で、また次年度への取り組みに繋げる意味からも少しでも一歩前進にまいりかとうよう、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

来たる年が皆様方に取りまして、良き一年となりますよう心よりご祈念申し上げます。来年もご増の支えを賜りますようお願い申し上げます。



教育の里づくりの集い

十二月二日にアストくにさきで教育の里づくり



りの集いが開催されました。本校から、七生が世界農業遺産についての学習発表をしました。

招いて、ため池の学習やシイタケ栽培の学習をしたたり、七島園について調べたりしてきました。

学習の成果は、文化祭でも発表しましたが、今回は、主にシイタケを使った調理にチャレンジしました。プレゼンにまとめ発表しました。メニューのレシピについて英語で発表したり、



みいたけ料理のうたを発表しました。作成したレシピは、会場の受付で配布できるように用意しました。



ものづくり教室

十一月十一日に、五年生が一日の技術を体験し、ものづくり

に挑戦しました。市内の技能士連合会の方々を招いて、建具の組子細工とミニ造園づくりに挑戦しました。技能士の方々の指導を受けながら、子どもたちは、熱心に作品作りに取り組みました。



秋の遠足

十一月八日に前期の遠足を、さき公園の楽園で行いました。十一月八日の遠足を、さき公園の楽園で行いました。



り、堅穴住居を見学したり、友だちとおやつやお弁当を食べたりと秋の一日を満喫できました。

さつまいも掘り

十一月十四日に、すこやか会の方をゲストティーチャーに迎え、二年生が芋掘りをしました。六月に植えた、芋づるの葉が、花壇いっぱいになりました。芋の成長にも期待しながら掘っていました。期待通り、今年も大きなさつまいもがたくさん掘れました。子どもたちは、大ききや形に大満足でした。



サッカーボールを寄贈いただきました

十一月十八日に別府地区納税貯蓄組合様よりサッカーボールを三個いただきました。税の作文の応募に協力をしていただいているお礼のことです。サイズ的に中・後期の児童生徒用ですので、今後、体育や休み時間に使用させていただきます。感謝致すともにお知らせいたします。

避難訓練

十一月二十八日に地震と火災を想定した避難訓練を実施しました。国東市消防本部南分署の署長さんをはじめ、署員の方々に訓練の様子を見ていただき、署長様より講評をいただきました。訓練時の約束であるお(押さない)は(走つて)追い越さない)し(しゃべらない)も(戻らない)がよく守れていたとお褒めの言葉をいただきました。放送による避難指示から避難完了までの時間は、三分五十八秒でした。これも、合格とのことでした。「訓練の意義は、いざというときに備えて、身体に染みこませることです。」という言葉に改めて日頃の訓練の大切さを痛感しました。署長さんからは、講評に加え、家庭でも気を付けることとして、次の一点をお話しされました。◆灯油とガソリンを同じ場所に保管しないこと。◆こたつの中に衣類などを入れて乾かさないこと。市内で起きた火災の原因も同じであったことなども加えて話していただきました。



平和集会

十二月五日に平和集会を行いました。六年生が長崎での修学旅行で学んだ原爆の怖さについて発表しました。全員が自分が調べた箇所を原稿なしで発表し、すばらしかったです。



入賞おめでとう!

前号に続き、各種作品に応募し、入賞した児童生徒を紹介します。

☆第六十三回大分県読書活動コンクール

感想文の部 大分県入選 一年 さん

大分県入選 六年 さん

☆JA共済全国小中学生交通安全ポスター

コンクール 三年 さん

☆第七十四回社会を明るくする運動

作文コンテスト 大分県推進委員会事務局長賞 五年 さん

佳作 七年 さん

☆税についての作文

国東市長賞 八年 さん

☆第四十三回全国中学生人権作文コンテスト

大分県大会 優秀賞 大分トリニータ賞 八年 さん

入賞した六名の皆さん、おめでとうございませう。皆さんの応募作品の中から選ばれたことは、大きな自信につながっていくと思います。作品によっては、二千を超える応募の中から選ばれた作品もあるようです。素晴らしい結果だと思います。これから、応募するというチャレンジを続けて欲しいと思います。作品に向き合うことで、自分の考え方を直直せたり、これまでを振り返ったり、新たな考えをもったりなど自分をみがかけてくれる良い機会となります。